

偶有的存在のなかで自己の可能性を主体的に追求する



法学部長
星野 智
Satoshi HOSHINO

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、これまでみなさんを支えてこられたすべての関係者の方々に心からお慶び申し上げます。

みなさんがこれから送る中央大学法学部での学生生活において、所定の単位を修得して卒業することが主要な目標であるとは思いますが、それ以外にみなさんには多くの可能性が存在しています。司法試験や公務員試験などの資格試験をめざしたり、留学して語学能力を高め外国との交流を深めたり、被災地の支援などのボランティア活動をしたり、あるいはスポーツサークルや文化サークルで活動したり等々、さまざまな可能性が待ち構えています。人間はその場その場においてつねに一定の選択的な行動をとっており、その選択によって次の行動のあり方が決定されます。

その意味で、人間はそのつどの主体的な選択に左右される偶有的な存在であるということが出来ます。大学卒業に必要な学修だけを行い、それ以上の主体的な選択を積極的に行わなければ、ただ単位を修得して卒業するだけになってしまいます。それもまた大学生活の1つの過ごし方ではありますが、それ以外のことを主体的に選択して大学生活をさらに充実させることの方がはるかによいはずです。入学したみなさんには、そのような主体的な選択の道を模索し、自己の可能性の追求をしてもらいたいと思います。

とりわけ今日のグローバル化した時代にあっては、いかなる分野においてもグローバルな舞台上で活動する人材が求められています。そのために必要なことは、国境という境界を越えた異文化あるいは異空間の人びととの出会いや体験を大切と考え、そうした場に自分を投げ込むことでもあります。たとえば海外への留学や国際インターンシップなどの機会を利用することなどもその1つの手段です。

いずれにせよ、学業にプラスアルファとなる何らかの主体的な選択的な活動は、自己のエンパワーメントと自己実現にとって重要な要素となるだけでなく、卒業後にどのような分野に進もうとも確実に役に立つことでもあります。入学されたみなさんには、大学生活を開始するに当たり、4年間で自己の可能性を実現するためのプログラムを考え、策定し、実行に移す準備を始めて頂きたいと思います。



経済学部長
篠原 正博
Masahiro SHINOHARA

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中央大学経済学部教職員一同、皆様のご入学を心から歓迎いたします。皆さんは、現在、受験勉強から解放されてほっとされていることでしょうか。大学4年間をどのように過ごすか、あれこれ考えるだけでも期待で胸が膨らみますよね。これから大いに大学生活を楽しんでください。

ところで、皆さんは、毎年マスコミで話題になるノーベル賞のことは当然ご存じでしょう。同賞は、スウェーデンの企業家アルフレッド・ノーベルの遺言に基づき19世紀末に創設されました。顕著な功績をあげた人物に対して授与される世界的に名誉ある賞ですが、「物理学」、「化学」、「生理学」、「医学」、「文学」、「平和」などととも、「経済学」は社会科学の中で唯一ノーベル賞の対象となっています。経済学は論理的かつ体系的に構築された学問であり、物理学が「自然科学の王様」であるのに対し、「社会科学の女王」と呼ばれています。

経済学は世界共通言語(世界共通の学問)です。グローバル化が進んだ今日、ビジネスマン、公務員、政治家にとっても、経済オンチでは世界で戦うことが困難になってきています。現実の経済現象を論理的に読み解く能力が求められます。

国内外で発生している経済問題は、経済理論、歴史、国際比較などのさまざまな側面からアプローチすることが可能です。いずれのアプローチからでも良いので、経済問題に対して4年間である程度の政策提言を行えることを目指しましょう。他人の意見の請け売りではなく、自分なりの視点から発言できる、そういう人になって欲しいと思います。

将来の日本いや世界を背負う可能性を秘めた皆さんが、中央大学経済学部で有意義な4年間を過ごされることを切に願っております。

経済学は世界共通言語